

平成27年10月25日執行
宮城県議会議員一般選挙

選挙公報

若林選挙区
宮城県選挙管理委員会



自民党公認 わたなべかつゆき
渡辺勝幸

新しい宮城をつくる

本物の政治家とは何か。それはパフォーマンスでもスローガンでもありません。ビジョンを実行するかどうか。そしてそれは、決して派手なものではなく、地道で真摯な実践の積み重ねでしかありません。時代の転換期である今こそ、子どもや孫の将来のために、新しい宮城県をつくるため、どうか渡辺勝幸に、あなたの力をお貸しください。

1 強い経済を宮城につくる

東北に新しいビジネスをつくり、真の復興をめざすとともに、起業チャレンジ精神を持つ方々を応援し、地域の自立をめざします。東京中心、大企業中心に浸透してきた景気回復を、宮城県全域へ、中小企業へ、一人ひとりの豊かさへと波及させる地方創生政策を推進します。地域経済や雇用を支える中小企業・小規模事業者への経営支援体制を強化し、経済の好循環をつくるとともに、中小企業金融の充実と地域金融の機能強化を図り、資金調達に万全を期します。商店街の再生を図るなど、中心市街地の活性化を加速させます。製造業、サービス業の積極的な支援をはじめとして、宮城県の強みである農林水産業を中心とした六次産業化への支援に取り組みと同時に、若い担い手が農業に取り組める仕組みづくりを進めます。女性がそれぞれの希望に応じ、職場・家庭・地域において、個性と能力を十分に発揮できる「すべての女性が輝く社会」の実現をめざします。

2 子どもたちの未来を宮城につくる

就学前の多様化する教育・保育ニーズに柔軟に対応するため、幼稚園・保育所などの幼児教育の充実・強化を図り、「認定こども園」の普及等に尽力します。保育所に入れない子どもが増えるよう、保育の場を増やすとともに、保育所で子ども達の面倒をみられる保育士さんを増やしていきます。地域と学校の連携を深める政策を推進し、多様な経験・技能を持つ地域の人々が協力する「土曜日の教育活動」を進めます。国語科は各教科等の学習の基礎であり、子ども達が言葉を大切にできるよう、小・中・高等学校を通じて国語教育の一層の充実を図ること、特に、読解力・知識の活用等、思考力・判断力・表現力の育成を重視すること、国語教育の充実を推進します。志や夢を持った子どもたちが、人や社会とかわる中で社会性や勤労観を養っていきけるよう、志教育を推進します。また、いじめ問題に対応できる体制を整え、道徳教育の充実を図ります。県有地を活用した運動場施設の建設や、プロスポーツ経験者等の体育専門教員採用などにより、子どもたちの体力向上をめざします。

3 ともに生きる「和」の社会を宮城につくる

地域社会と企業が協働連携する仕組み。無駄な二重行政が行われないよう、宮城県と仙台市の共同事業等の連携強化を推進。医療・福祉の充実。元気なシニア世代の力や経験を積極的に活用。介護職員不足の解消。特別支援学級の充実を図るとともに、みんなが地域で共に生きることへの理解を深める政策を推進。日本古来の伝統文化を大切にしながら、自然と共に生きる環境をつくる。

プロフィール

- 昭和50年5月10日生まれ 仙台市若林区出身
- 平成3年 仙台市立沖野中学校卒業
- 平成6年 宮城県仙台第一高等学校卒業
- 平成13年 慶應義塾大学大学院 法学研究科政治学専攻修士課程修了
- 平成12年 参議院議員市川一朗(宮城県選挙区) 政策担当秘書(平成22年まで)
- 平成19年 参議院自民党秘書会幹事(平成22年まで)
- 平成23年 宮城県議会選挙(若林選挙区)に出馬
- 平成25年 沖父ちゃん会(沖野葉小おやじの会)会長

全力で走る!! 次世代へ想いをつなぐ責任



自由民主党公認
ほそかわ
細川ゆういち
48歳

「みやぎ・若林」輝く未来へ! 創造的復興のため
一生懸命力走中!!

細川ゆういちプロフィール

- 昭和42年10月22日生まれ
- 新潟県立巻高等学校卒
- 家族 妻・娘
- 趣味 スポーツ観戦・ミニテニス

宮城県議会

- 建設企業委員会 副委員長
- 文教警察委員会 委員長
- 産業経済委員会 副委員長
- 6次産業化推進委員会 委員長
- 保健福祉委員会 副委員長
- 環境生活農林水産委員会 副委員長
- 総務企画委員会 副委員長

各種団体

- 蒲町学区民体育振興会 会長
- 若林区少年野球連盟 事務局
- 若林消防団七郷分団蒲町部 団員
- 美容組合若林支部 顧問
- 交通指導隊七郷分隊 隊員

細川ゆういち 4つの政策

- 走 安心・安全**
 - 「若林警察署」を中核とした地域連携の防災機能や犯罪抑止と治安向上の加速
 - 「宮城野原広域防災拠点」の整備促進と防災ネットワークの強化や防災教育の充実を通じて防災・減災の意識向上、災害時こそ繋がる通信体制整備の加速
 - 「仙台東道路」早期建設に向けて「国・県・仙台市」等関係各所の連携加速
- 走 創造的農業**
 - 認定農業者、集落営農組織、農業法人等の経営の高度化・大規模化を進め、競争力ある経営体の育成支援強化
 - 6次産業化推進により、所得増大と担い手の育成、雇用を確保できるアグリビジネスの支援強化
- 走 教育・福祉**
 - 被災者生活支援(健康・心のケア・コミュニティづくり等)の長期的な継続
 - 我が国と郷土を愛するとともに、夢と志を持ち、その実現に向けて自ら考え行動し、社会を生き抜く人間力育成を推進
 - 多様な経験技能を持つ地域の人々が協力する子どもたちの土曜日の教育活動支援
 - 働く意欲のあるシルバー世代の方々が現役として働きやすい環境整備
- 走 地域経済の活性化**
 - 「まち」「ひと」「しごと」「定住」の地方創生と好循環を確立することによる地域経済の活性化
 - 「すべての女性が輝く社会」の実現を目指し、再就職・地域貢献などの支援

女川原発再稼働ストップ

1182億円のためこみ金を活用して

- *被災者の医療介護費の免除延長と復活、復興公営住宅増設
- *TPPから撤退、調印中止をすべての農家支援を
- *中学卒業まで医療費無料に
- *小中全学年で35人学級を
- *高すぎる国保料引き下げ
- *特養ホームと保育所、学童保育を増やします
- *住宅リフォーム助成で仕事と雇用をつくりまします

福島かずえさんとともにがんばります

党委員長 **志位和夫**
市議 **庄司あかり**

くらしと命を大切に
する県政へ

安倍政治ノ、9条守ります
戦争法の廃止へ

安倍内閣の戦争法の強行は、絶対に許せません。平和であってこそ、くらしの充実も、いのちを守る福祉や被災者本位の復興も前進します。

日本の針路と県政のあり方が問われる、「自共対決」の選挙です。

今度こそ、なんとしても若林区初の日本共産党県議として私を県議会へ送ってください。

1960年生まれ。若林小、八軒中、宮城二女高、宮城学院女子大卒。仙台市議5期20年。元宮城県映画センター事務局長。



日本共産党
福島かずえ
54歳

日本共産党への一票が戦争法廃止へ野党の共同をつよめ連合政府をつくる力に

この公報は、各候補者から掲載申請のあった原稿をそのまま写真製版により印刷したものです。

平成 27 年 10 月 25 日 執行
宮城県議会議員一般選挙

選挙公報

若林選挙区
宮城県選挙管理委員会



ちば
千葉あつこ
民主党

あなた
**頑張る県民の
心の支えに。**

県民生活の安心・安全を守ります

私の思い

家族が突然倒れて
子育てと仕事の両立に
呆然としている人、
悩んでいる人、
老老介護に苦しんでいる人、
社会の仕組みを整備することで、
そうした方々を助けたい。
皆様お一人お一人に寄り添い、
ともに歩んでまいります。

私の政策

- ①「地域全体で支える介護」の推進
市町村と協力して政策を進めます。
- ②子育て・教育の安心を
全国最低の県の子ども
医療費助成を引上げます。
- ③ワーク・ライフ・バランスを
大切に
- ④復興、そして経済の活性化へ
大震災時の権限を政令市等に
移譲します。

私たちが応援しています

民主党宮城県連代表	安住 淳
連合宮城会長	山崎 透
衆議院議員	郡 和子
参議院議員	桜井 充
仙台市議会議員	木村 勝好

プロフィール

- 昭和37年(1962年)2月27日 仙台生まれ
- 昭和55年3月 仙台白百合学園高等学校 卒業(高校32回生)
- 昭和59年3月 聖心女子大学 文学部 哲学科 卒業(34回生)
- 昭和59年4月 日本電子株式会社(JEOL)入社
- 平成25年7月 実母の遠距離介護の後、退職
自宅介護に従事
- 平成26年11月 民主党「女性のための政治スクール」修了
- 現在 民主党宮城県 第2区総支部 幹事



10月25日(日)は、 宮城県議会議員一般選挙の 投票日です。

- ◎投票日当日、投票ができないときは、期日前投票または不在者投票をしましょう。(10月24日(土)まで)
- ◎投票所の入場券が届いていない場合やなくしてしまった場合でも、選挙人名簿に登録されているご本人であることが確認できれば投票できます。

宮城県議会議員一般選挙については、
宮城県選挙管理委員会ホームページをご覧ください。

宮城県選挙管理委員会 [検索](#)

宮城県選挙管理委員会 〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号 宮城県庁内